

## 授業科目 解剖学

【担当教員名】  鈴木 了		対象学年	1	対象学科	情報	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	◎				
【概要・一般目標：GI0】 解剖学（HI）は人体の全領域の基本的構造を対象とし、各構造の機能および役割を学習し、総合的に理解する。また医療情報系および資格取得に必要とされる基礎医学用語を理解する。さらに身につけた解剖学的知識を局所的な構造、部位にとらわれず、人体構造全体を通して説明できるよう包括的な理解を行う。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。</li> <li>2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。</li> <li>3. 主な骨、骨格筋の名称、位置を説明できる。</li> <li>4. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。</li> <li>5. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。</li> <li>6. 呼吸器系の構造および循環器との関連について説明できる。</li> <li>7. 泌尿器生殖器系を構成する器官の名称、位置を説明できる。</li> <li>8. 内分泌器の種類、機能、ホルモンについて説明できる。</li> <li>9. 中枢神経系、末梢神経系の構成、伝道路について概説できる。</li> <li>10. 感覚器の構造とその付属器、皮膚の角質器、皮膚腺についてそれぞれの機能を説明できる。</li> </ol>						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	解剖学序論	解剖学とは	組織学総論	細胞と四大組織その1	1,2	講義
2	組織学総論	細胞と四大組織その2			2	講義
3	骨格系	骨の構造と種類	骨の連結		3	講義
4	筋系	筋の構造と種類	主な骨格筋		3	講義
5	循環器系	血管とは	心臓	大循環と小循環	4	講義
6	消化器系	消化器系内臓の構造と機能			5	講義
7	呼吸器系	呼吸器の構造と循環器との関連			4,6	講義
8	泌尿生殖器系（泌尿器）	泌尿器の構造と役割			7	講義
9	泌尿生殖器系（生殖器）	生殖器の構造と性差			7	講義
10	内分泌系	内分泌器とホルモン			8	講義
11	神経系 - 1	末梢神経系 1	脊髄神経、自律神経		9	講義
12	神経系 - 2	末梢神経系 2	脳神経		9	講義
13	神経系 - 3	中枢神経系 1	脳幹		9	講義
14	神経系 - 4	中枢神経系 2	大脳、伝導路		9	講義
15	感覚器、体表器官				10	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000・5,000円	
参考書		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2009・6,090円	
		解剖生理学	高野廣子	南山堂	2002・5,040円	
		解剖学アトラス	V. W. Kahle, H. Leonhardt,	文光堂	1990・10,500円	
			越智淳三 訳 他			
その他の資料		プリントの配布				
【評価方法】		【履修上の留意点】				
出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、小テスト、期末試験の総合評価		講義は進行状況等により内容が前後する事があります。短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、予習、復習することが重要です。また参考書は非常に高価です。無理に購入せず、図書館等を有効に活用してください。				